

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名		シミュレーション実習Ⅰ				学年	1
講師名	専任教員	時間数	225	単位数	5	コマ数	113
教科目標 救急隊員の責務、心構え、知識の向上を実技及びシミュレーションを通し、国家試験合格レベルの学力を身につける。また、MCの意味を理解する。さらに近年のプレホスピタルケアの処置拡大に伴う高度化した救急資機材の機能や特性を把握し、取扱いの習熟、保守管理を含めた手技を学ぶ。							
講 義 内 容	1～3	礼式(物品の授受、隊の編成、停止間の礼式、行進間の礼式、始業点検、車両点検、救急車取り扱い説明、展示)					
	4～14	胸骨圧迫・BVMによる心肺蘇生法					
	15～23	コミュニケーション外国語演習(ノンバーバルやジェスチャーによるコミュニケーション技法)					
	24～44	消防トレーニング					
	45～47	結索法、包帯法(本結び、モヤ結び、八の字結び、巻き結び、その他結索全般) 三角巾法(全巾、半巾、たたみ三角巾、その他)、巻軸包帯、展示					
	48～50	徒手搬送法(ファイヤーマンズキャリー法、バックストラップ法、サドルバック法、ヒューマンチェーン、組み手搬送、両手搬送、抱き上げ搬送、支持搬送、救出搬送、視力障害歩行体験)					
	51～52	担架搬送法(メインストレッチャー、サブストレッチャー、布担架、スクープストレッチャー、バックボード、曳航法、担架収容法、車内収容法、ストレッチャー上での固定)					
	53～55	保温法(毛布1・2・3枚法、アルミシート法、冷電法、温電法) 止血法(直接圧迫止血、間接圧迫止血、止血帯、止血棒、ターニケット)					
	56～58	体位管理(ストレッチャー上での仰臥位、昏睡体位、トレンデレンブルグ位、逆トレンデレンブルグ位、起座位、半座位、展示) 固定法(副子固定、アルフェンスシーネ、マジックギブス、ポリネック)					
	59～60	観察(環境観察、出血、嘔吐、顔貌、失禁、四肢変形) (意識(JCS、GCS)、呼吸(聴診器)、脈拍、血圧体温、瞳孔(ペンライト)、展示)					
	61～70	静脈路確保、薬剤投与(輸液セットの設定、静脈路の知識、必要な資器材、アドレナリンの知識、薬剤投与の適応、静脈路確保の指示要請ならびに救命士報告、展示)					
	71～80	気道管理(食道閉鎖式エアウェイ、ラリゲアルマスク、気管挿管の手技、イージーギャップの使用法、EDDチェッカーの使用法、カフノメーターの構造・使用方法)					
	81～93	JPTECに準拠した外傷活動					
	94～113	隊での活動					

評価方法		終講試験など	
評価基準	新GPA評価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	単位認定
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
備考	救急救命士標準テキスト 授業プリント及びテレビモニターを使用する		

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名	就職対策Ⅰ					学年	1
講師名	大室 英幸、田村 和香子	時間数	90	単位数	6	コマ数	45
教科目標 将来の就職試験でも必要となる一般知能・一般知識の基礎知識を会得する。							
講 義 内 容	1	社会科学(政治(国会・内閣・人権など))					
	2	社会科学(政治(国会・内閣・人権など))					
	3	社会科学(政治(国会・内閣・人権など))					
	4	社会科学(政治(国会・内閣・人権など))					
	5	社会科学(政治(国会・内閣・人権など))					
	6	社会科学(経済(市場経済・金融と財政など))					
	7	社会科学(経済(市場経済・金融と財政など))					
	8	社会科学(経済(市場経済・金融と財政など))					
	9	社会科学(経済(市場経済・金融と財政など))					
	10	社会科学(経済(市場経済・金融と財政など))					
	11	人文科学(日本史)					
	12	人文科学(日本史)					
	13	人文科学(日本史)					
	14	人文科学(世界史)					
	15	人文科学(世界史)					
	16	人文科学(世界史)					
	17	人文科学(地理)					
	18	人文科学(地理)					
	19	人文科学(地理)					
	20	人文科学(地理)					
	21	人文科学(文学)					
	22	人文科学(芸術)					
	23	判断推理					
	24	判断推理					
	25	判断推理					
	26	判断推理					
	27	判断推理					
	28	数的推理					
	29	数的推理					
	30	数的推理					
	31	数的推理					
	32	数的推理					
	33	文章理解・資料解釈(現代文)					
	34	文章理解・資料解釈(現代文)					
	35	文章理解・資料解釈(古文)					
	36	文章理解・資料解釈(英文)					
	37	文章理解・資料解釈(数表・グラフ)					
	38	自然科学(物理)					
	39	自然科学(物理)					
	40	自然科学(化学)					
	41	自然科学(化学)					

42	自然科学(化学)
43	自然科学(生物)
44	自然科学(地学)
45	自然科学(地学)

評価方法		終講試験など		
評価基準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		単位認定
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
備考	オープンセサミを使用する 授業プリント及びテレビモニターを使用する			

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名	救急救命士研究 I					学年	1
講師名	専任教員	時間数	30	単位数	1	コマ数	15
教科目標							
救急救命士の役割を「消防」「病院」の両面から理解する 消防・病院それぞれの就職プロセスと求められる人物像を理解する 採用試験(筆記・面接・体力・小論文)に対応できる準備を整える 国家試験の全体像を把握し、学習の方向性を明確にする							
講 義 内 容	1	オリエンテーション・救急救命士という職業の全体像					
	2	救急救命士の働き方①【消防編】					
	3	救急救命士の働き方②【病院編】					
	4	消防と病院、就職先としての比較と選択					
	5	消防採用試験の全体像					
	6	病院就職の実情と対策					
	7	自己分析と進路設計					
	8	志望動機・自己PRの作成方法					
	9	エントリーシートの作成①					
	10	エントリーシートの作成②					
	11	面接試験対策①【基礎編】					
	12	面接試験対策②【実践編】					
	13	体力試験・適性試験対策					
	14	小論文・作文試験対策①					
	15	小論文・作文試験対策②					

評価方法		終講試験など		
評価基準	新 G P A 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		単位認定
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
備考	授業プリント及びテレビモニターを使用する			

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名	共生・社会理解					学年	1
講師名	高橋幸 吉田英明	時間数	15	単位数	1	コマ数	8

教科目標

自分自身の価値観・思考の癖を理解する
 他者との違いを尊重し、適切に関わる力を身につける
 多様な社会・文化の存在を理解し、共生の視点を持つ
 社会で求められる基本的な「人間力」「対人能力」を実践的に学ぶ

講 義 内 容	1	オリエンテーションと「人間力」とは何か
	2	自己認識①: 自分を知る(価値観・強み・弱み)
	3	自己認識②: 感情と向き合う力
	4	他者理解①: 人はなぜ分かり合えないのか
	5	他者理解②: 伝える・聴く力(コミュニケーション)
	6	共生社会の理解: 多様性と社会
	7	異文化理解: 海外の文化と価値観
	8	社会で生きる力の実践とまとめ
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	

評価方法	終講試験など		
評価基準 (新G 評P 価A)	A(90点以上): 教科目標を高い水準で達成している。	}	
	B(80～89点): 教科目標達成において優れている。		
	C(70～79点): 教科目標において一定の水準に達している。		単位認定
	D(60～69点): 教科目標において最低限の水準に達している。		
	F(59点以下または不合格): 教科目標を達成することができなかった。		
備考	授業プリント及びテレビモニターを使用する		

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名	医学概論					学年	1
講師名	大島 基靖	時間数	15	単位数	1	コマ数	8

教科目標

医学の本質、医学の発達、医療従事者の倫理を説明できる。
自然科学とは何かを理解し、客観性、再現性、普遍性の重要性を理解する。

講 義 内 容	1	人間と人間生活
	2	科学的思考の基礎
	3	生命倫理と医の倫理
	4	生命倫理に関する原則
	5	生命倫理の考え方と医療の実際
	6	傷病者の権利を守る立場から
	7	救急救命士の職業倫理
	8	救急救命士の職業倫理
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	

評価方法	終講試験など		
評価基準	新 G P A （ 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	単位認定
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
備考	救急救命士標準テキスト 授業プリント及びテレビモニターを使用する		

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名		解剖学・生理学				学年	1		
講師名		田中真樹、三戸浩平		時間数	120	単位数	8	コマ数	60
教科目標									
人体の構造と機能を中心とした基本的内容を理解する。									
講 義 内 容	1	解剖学とは(解剖学における用語・医学の基礎としての解剖学)							
	2	生理学とは(生理学における用語・医学の基礎としての生理学)							
	3	細胞と組織							
	4	細胞と組織							
	5	細胞と組織							
	6	細胞と組織							
	7	皮膚と膜							
	8	皮膚と膜							
	9	皮膚と膜							
	10	皮膚と膜							
	11	血液							
	12	血液							
	13	血液							
	14	血液							
	15	循環器系							
	16	循環器系							
	17	循環器系							
	18	循環器系							
	19	呼吸器系							
	20	呼吸器系							
	21	呼吸器系							
	22	呼吸器系							
	23	消化器系							
	24	消化器系							
	25	消化器系							
	26	消化器系							
	27	泌尿器系							
	28	泌尿器系							
	29	泌尿器系							
	30	泌尿器系							
	31	内分泌系							
	32	内分泌系							
	33	内分泌系							
	34	内分泌系							
	35	生殖器系							
	36	生殖器系							
	37	生殖器系							
	38	生殖器系							
	39	骨格系							
	40	骨格系							
	41	骨格系							

42	骨格系
43	筋系
44	筋系
45	筋系
46	筋系
47	神経系
48	神経系
49	神経系
50	神経系
51	感覚器系
52	感覚器系
53	感覚器系
54	感覚器系
55	免疫系
56	免疫系
57	免疫系
58	免疫系
59	解剖学まとめ
60	生理学まとめ

評価方法		終講試験など	
評価基準	新 G P A （ 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	単位認定
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
備考	救急救命士標準テキスト 授業プリント及びテレビモニターを使用する		

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名	臨床医学総論 I					学年	1
講師名	池田淳也、吉田英明、佐藤友彦	時間数	30	単位数	2	コマ数	15

教科目標

疾患発生の基本的なメカニズムを理解する
 各病態の特徴と相互関係を説明できるようになる
 救急救命士国家試験に必要な基礎病理学の知識を身につける

講 義 内 容	1	疾患概論①: 疾患とは何か
	2	疾患概論②: 疾患の経過と転帰
	3	細胞傷害①: 細胞傷害の原因
	4	細胞傷害②: 細胞の変化と細胞死
	5	炎症①: 炎症の基本
	6	炎症②: 慢性炎症と炎症の転帰
	7	感染①: 感染成立の条件
	8	感染②: 宿主防御と感染症の経過
	9	循環障害①: 循環障害の基礎
	10	循環障害②: 血栓・塞栓・梗塞
	11	循環障害③: ショック
	12	腫瘍①: 腫瘍の基礎
	13	腫瘍②: 悪性腫瘍の特徴
	14	損傷と治療
	15	死

評価方法	終講試験など		
評価基準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上): 教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点): 教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点): 教科目標において一定の水準に達している。	単位認定
		D(60～69点): 教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格): 教科目標を達成することができなかった。	
備考	救急救命士標準テキスト 授業プリント及びテレビモニターを使用する		

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名	心肺停止					学年	2
講師名	佐藤 友彦	時間数	30	単位数	2	コマ数	15

教科目標

心肺停止の判断や病態生理、心肺蘇生法などを中心に学ぶ。
最新のJRC蘇生ガイドライン及び心肺蘇生法の歴史を学ぶ。

講 義 内 容	1	総論～定義・概念
	2	総論～疫学・JRCガイドライン(1)
	3	総論～ウツタイン様式・JRCガイドライン(2)
	4	心肺停止に至る病態と原因～心肺停止に至る病態
	5	心肺停止に至る病態と原因～生体酸素状況
	6	心肺停止に至る病態と原因～主な原因疾患
	7	心電図分類～心室細動/無脈性心室頻拍
	8	心電図分類～無脈性電気活動
	9	心電図分類～心静止
	10	心肺蘇生中の循環～胸骨圧迫による循環発生の機序
	11	心肺蘇生中の循環～全身の循環・冠循環
	12	心肺蘇生中の循環～脳循環・胸骨圧迫の效果に影響する因子
	13	心拍再開後の病態～虚血による臓器障害
	14	心拍再開後の病態～再灌流障害
	15	心拍再開後の病態～心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	

評価方法	終講試験など	
評価基準	新G	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
	評P	B(80～89点):教科目標達成において優れている。
	価A	C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
備考	救急救命士標準テキスト 授業プリント及びテレビモニターを使用する	

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名	循環系疾患					学年	1
講師名	三戸浩平、池田淳也	時間数	30	単位数	2	コマ数	15

教科目標

循環系疾患の病態生理を理解する
 各心疾患・血管疾患の特徴を説明できる
 心電図の基礎を理解し、不整脈の概要を把握する
 救急救命士国家試験に必要な循環器分野の知識を身につける

講 義 内 容	1	循環系疾患総論
	2	虚血性心疾患①:病態生理
	3	虚血性心疾患②:疾患各論
	4	心筋疾患①:心筋症の分類
	5	心筋疾患②:心筋炎
	6	心膜疾患
	7	不整脈①:不整脈の基礎
	8	不整脈②:徐脈性不整脈
	9	不整脈③:頻脈性不整脈
	10	心電図の観察①:心電図の基礎
	11	心電図の観察②:異常心電図
	12	その他の心疾患
	13	血管疾患①:動脈疾患
	14	血管疾患②:静脈疾患
	15	高血圧

評価方法	終講試験など		
評 価 基 準	新 G P A （ 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	単位認定
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
備考	救急救命士標準テキスト 授業プリント及びテレビモニターを使用する		

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名	呼吸系疾患					学年	1
講師名	三戸浩平、境 純平	時間数	30	単位数	2	コマ数	15

教科目標

呼吸系の役割、構造、機能、仕組み、ガス交換、調節を理解する。
呼吸不全の概念、基本的病態の説明、呼吸不全症例・緊急度が高い所見を列挙できる。
呼吸困難の程度、分類、随伴症候、観察の要点の説明ができる。

講 義 内 容	1	呼吸器系の構成と役割
	2	呼吸、気道
	3	胸郭、肺
	4	肺胞でのガス交換 体内での酸素の働き 呼吸の調節
	5	呼吸不全総論 呼吸運動の障害
	6	気道の障害 肺胞の障害 肺間質の障害
	7	呼吸困難定義・概念
	8	分類 呼吸器による分類 程度による分類
	9	原因疾患 随伴症候
	10	緊急度・重症度の判断
	11	喀血定義・分類 喀血による影響
	12	判別を要する病態 緊急度・重症度の判断
	13	現場活動 医療機関選定
	14	呼吸系疾患総論 呼吸不全 上気道の疾患 下気道と肺胞の疾患
	15	感染症 胸膜疾患 その他の呼吸系疾患

評価方法	終講試験など		
評 価 基 準	新 G P A （ 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	単位認定
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
備考	救急救命士標準テキスト 授業プリント及びテレビモニターを使用する		

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名	処置論Ⅰ					学年	1		
講師名	中田敏宏、池田淳也、吉田英明、中島正行			時間数	90	単位数	6	コマ数	45
教科目標									
救急現場での使用資機材の基本操作・使用方法を理解する。 資機材の使用方法から現場での対応能力を向上させることができる。 誤った使用方法による傷病者への侵襲を理解し現場での事故防止策を各自で練ることができる。 <u>※実務経験のある教員等による授業科目となる</u>									
講 義 内 容	1	パルスオキシメータ							
	2	カプノメータ							
	3	カプノメータ							
	4	聴診器							
	5	血圧計							
	6	心電図							
	7	心電図							
	8	体温計							
	9	気道確保							
	10	気道確保							
	11	気道異物除去							
	12	気道異物除去							
	13	口腔内の吸引							
	14	声門上気道デバイスを用いた気道確保							
	15	声門上気道デバイスを用いた気道確保							
	16	気管挿管							
	17	気管挿管							
	18	気管挿管							
	19	気管吸引							
	20	酸素投与							
	21	酸素投与							
	22	人工呼吸							
	23	人工呼吸							
	24	胸骨圧迫							
	25	胸骨圧迫							
	26	自動式心マッサージ機の使用							
	27	除細動							
	28	除細動							
	29	静脈路確保と輸液							
	30	静脈路確保と輸液							
	31	アドレナリン投与							
	32	アドレナリン投与							
	33	自己注射用アドレナリンの投与							
	34	体位管理							
	35	体位管理							
	36	体温管理							
	37	止血							
	38	止血							
	39	創傷処置							
	40	創傷処置							

41	固定
42	固定
43	固定
44	産婦人科領域の処置
45	産婦人科領域の処置

評価方法		終講試験など		
評価基準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		単位認定
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
備考	救急救命士標準テキスト 授業プリント及びテレビモニターを使用する			

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名	情報科学					学年	1
講師名	太田直子	時間数	60	単位数	2	コマ数	30
教科目標 社会に出て必要なコンピューターの基礎知識(Word・Excel・PowerPoint等)や文章作成及びプレゼンテーション作成をコンピューターでできるようにする							
講 義 内 容	1	導入(起動方法・ウォーミングアップ)キートレーニング・入力練習					
	2	キートレーニング・入力練習・ビジネス文書の作成					
	3	ビジネス文書の作成・編集					
	4	単語登録・Word書式設定					
	5	Word段落書式・ヘッダーフッター					
	6	Word文字種の変換・タブ機能					
	7	Word特殊記号の入力・タブ機能・表作成の練習					
	8	Word表作成機能-応用					
	9	Word図形描画					
	10	Word図形描画の応用・Wordまとめ					
	11	PowerPoint概要・基本操作確認・プレゼンテーションの作成					
	12	PowerPoint基本操作確認・自己PRの作成					
	13	自己PRの作成・発表					
	14	Word復習					
	15	入力テスト・前期終了前課題					
	16	PowerPointの復習と活用・画面切り替え・アニメーション					
	17	PowerPoint-マスター操作・内容最終確認-作成					
	18	PowerPoint作成上の注意・発表方法の注意点確認					
	19	PowerPoint発表準備・グループ発表・全体発表の役割分担					
	20	PowerPoint発表					
	21	Excel-導入					
	22	Excel基本操作-確認・書式設定					
	23	Excel書式設定・絶対参照					
	24	Excel絶対参照復習・RANK関数・ページ設定					
	25	Excel並べ替え・条件付き書式・ページ設定・IF関数					
	26	Excel棒グラフの作成・IF関数・条件付き書式の応用					
	27	Excel円グラフの作成・IF関数の応用					
	28	Excelフィルタ・テーブル・復習					
	29	ExcelIF関数-活用・ページ設定-活用・COUNTIF関数・入力規則					
	30	Excel復習課題					

評価方法		終講試験など		
評価基準	新 G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		単位認定
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
備考	よくわかる Microsoft Word 2021 & Microsoft Excel 2021 & Microsoft PowerPoint 2021を使用する 授業プリント及びテレビモニターを使用する			

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名	感覚・運動系疾患					学年	1
講師名	佐々木美香	時間数	15	単位数	1	コマ数	8

教科目標

筋骨格系・皮膚・感覚器疾患の基礎を理解する
 各疾患の病態生理と特徴を説明できる
 救急救命士国家試験に必要な関連知識を身につける

講 義 内 容	1	総論①:筋骨格・皮膚・感覚器の基礎
	2	総論②:疾患の分類と病態の考え方
	3	脊椎疾患①
	4	脊椎疾患②
	5	関節疾患①
	6	関節疾患②
	7	筋疾患
	8	皮膚の感染症
	9	その他の皮膚疾患
	10	眼の疾患①
	11	眼の疾患②
	12	耳の疾患①
	13	耳の疾患②
	14	鼻の疾患
	15	まとめ・総復習

評価方法	終講試験など		
評 価 基 準	新 G P A （ 評 価 ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	単位認定
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
備考	救急救命士標準テキスト 授業プリント及びテレビモニターを使用する		

＜救急救命士学科 シラバス＞①

科目名	神経系疾患					学年	1
講師名	三戸浩平、中島正行	時間数	30	単位数	2	コマ数	15

教科目標

神経系の構造と機能を理解する
 神経系疾患の病態生理を説明できる
 脳血管障害を中心とした主要疾患を理解する
 救急救命士国家試験に必要な神経系分野の知識を身につける

講 義 内 容	1	神経系疾患 総論①
	2	神経系疾患 総論②
	3	脳血管障害①:総論
	4	脳血管障害②:虚血性脳血管障害
	5	脳血管障害③:出血性脳血管障害
	6	脳卒中
	7	中枢神経系の感染症①
	8	中枢神経系の感染症②
	9	末梢神経疾患①
	10	末梢神経疾患②
	11	その他神経系疾患①
	12	その他神経系疾患②
	13	その他神経系疾患③
	14	神経系疾患の鑑別とまとめ①
	15	神経系疾患の鑑別とまとめ②

評価方法		終講試験など		
評価基準	新 G P A 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		単位認定
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
備考	救急救命士標準テキスト 授業プリント及びテレビモニターを使用する			